

令和2年第2回
区づくり推進横浜市会議員会議
会議資料

令和2年6月9日
都 筑 区

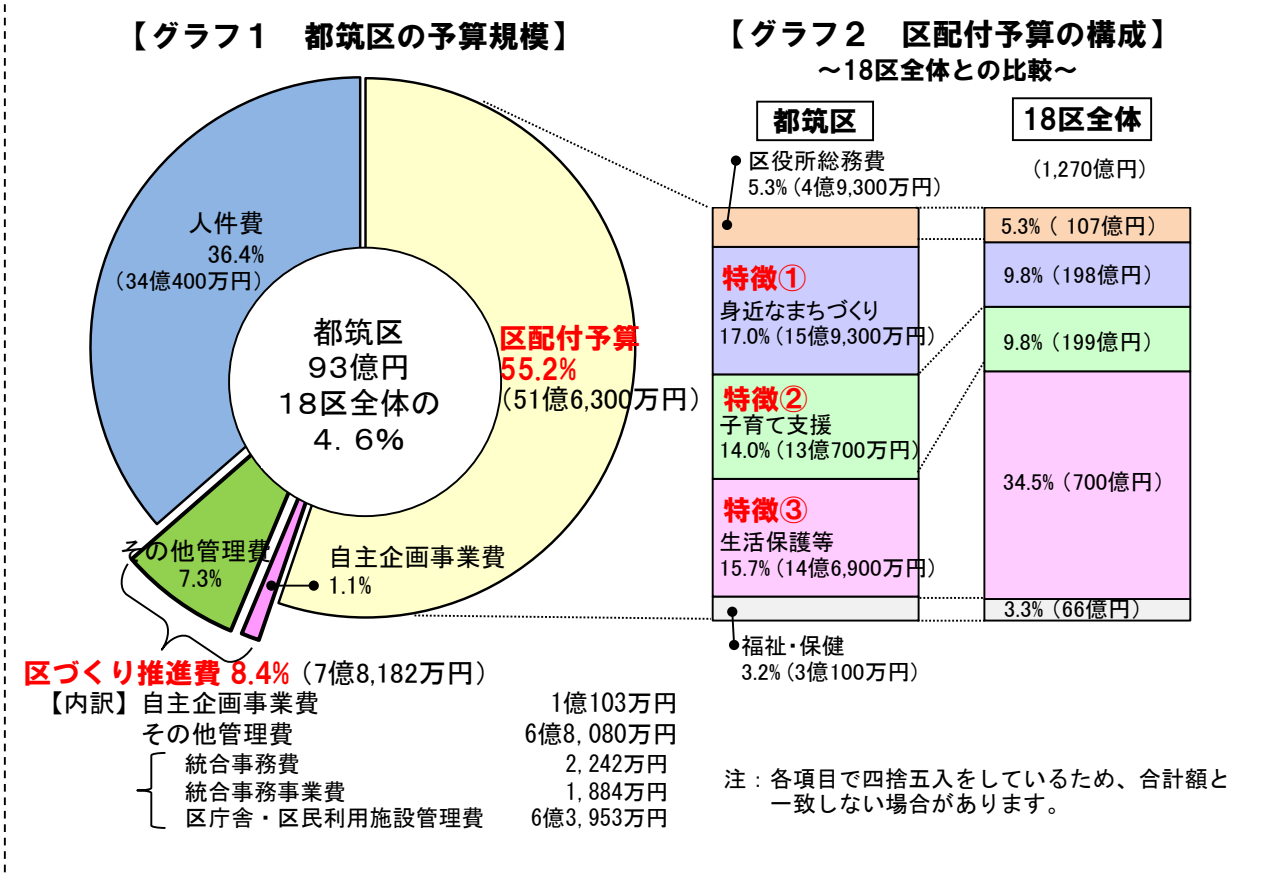
目 次

令和2年度 都筑区に係る予算のすがた（令和2年度一般会計予算）	1
令和2年度 主な事業内容	2
令和2年度 都筑区編成予算 総括説明書	3
令和2年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要	4
施策1 つながりと協働を育むまち	
1 まちづくり総合調整事業 重点 拡充	6
2 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 重点 拡充	7
3 地域支援の種（たね）事業 重点 新規	9
4 区役所改善推進事業 拡充	10
5 自治会・町内会支援事業 拡充	11
6 広報・広聴事業 拡充	12
7 つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習支援事業）	13
8 地域de育む青少年事業（青少年健全育成事業）	14
施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち	
9 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	15
10 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充	17
11 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	19
12 地域で支える高齢者支援事業	20
13 障害者交流啓発事業	21
施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	
14 メイドインつづき推進事業 重点 拡充	22
15 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充	23
16 文化活動支援・スポーツ振興事業	24
17 街のにぎわいづくり事業	25
18 都筑 国際交流プログラム	26
19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	27
施策4 安全・安心なまち	
20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充	28
21 安全・安心なまちづくり事業	30
22 危機管理対策推進事業	31
23 食と暮らしの安全推進事業 拡充	32
施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	
24 ハマロード・サテター、公園・緑道愛護会等活動推進事業 重点 拡充	33
25 環境にやさしいまち推進事業 拡充	35
26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	37

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、新規は**新規**、と表記しています。

都筑区に係る予算のすがた（令和2年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は1兆7,400億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を含む）は2,025億円です。



都筑区の予算の特徴

令和2年度一般会計予算の中で、都筑区の人件費を含む区が執行している予算の規模は、約93億円となり、18区全体の予算のおよそ4.6%を占めています。これは、単純に区民1人当たり換算すると、43,609円を支出していることになります。（令和2年5月1日現在の区の人口213,257人）

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は、約7億8,182万円となり、都筑区に係る予算の約8.4%となっています。

「個性ある区づくり推進費」は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための「自主企画事業費」、区総合庁舎や区民利用施設の管理・修繕費などの「その他管理費」で構成されています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算配付を受け区が執行している「区配付予算」で、都筑区全体の約55.2%に及び、予算額は約51億6,300万円となっています。

「区配付予算」の都筑区の特徴

- ①「身近なまちづくり」（土木事務所が執行する道路・公園等の維持管理に係る予算）・・・約15億9,300万円
公園面積は161万7,981㎡で18区中3位の面積を有しており、予算額は18区中2位となっています。
- ②「子育て支援」（市立保育所の運営や放課後児童育成などに係る予算）・・・・・・・約13億700万円
年少人口（0～14歳）は、構成割合・人数ともに市内で上位であり、予算額は18区中6位となっています。
- ③「生活保護等」（生活困窮者に対する扶助費を支給するための経費などに係る予算）・・・約14億6,900万円
生活保護費支給世帯数は令和2年3月末現在1,189世帯であり、世帯数、予算額共に18区中18位となっています。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	782	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	101	区が地域の課題やニーズに迅速かつきめ細かく対応するための予算及び各局から配付されていた予算を束ねたもので、局が定めた一定の条件に基づいて地域の実情に応じて編成・執行する予算です。
統合事務事業費 区庁舎・区民利用施設管理費	681	生活保護や戸籍・住民登録等に係る事務費や、区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区配付予算	5,163	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	493	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	109	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	14	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	81	各種統計調査を行うための経費です。
その他	289	戸籍住民登録の事務費、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,593	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,793 百万円
道路修繕費等	969	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	32	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(200)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	592	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	1,307	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費です。
市立保育所運営	465	保育に欠ける乳児、幼児を保育する保育所の運営費などです。
放課後児童健全育成	577	地域の理解と協力のもと、保護者の就労等の事情により、留守家庭となる児童の保護及び遊びを通じた健全な育成を行う放課後児童クラブ運営委員会への補助金などです。
その他	265	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。
生活保護等	1,469	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	1,451	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	18	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	301	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	123	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	25	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	154	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
人件費	3,404	
職員人件費	3,404	総務局人事部労務課公表「令和2年度職員人件費予算の目安」より
合 計	9,349	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 9,549 百万円

・各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

・年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。

<個性ある区づくり推進費総括表>

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	増△減
1 自主企画事業費	101,026	101,290	△ 264
2 統合事務事業費	41,261	40,974	287
(1) 統合事務費	22,421	22,669	△ 248
(2) 統合事業費	18,840	18,305	535
3 区庁舎・区民利用施設管理費	639,534	633,828	5,706
4 温暖化対策プラス事業	0	8,061	△ 8,061
合 計	781,821	784,153	△ 2,332

<内訳>

1 自主企画事業費

施 策 の 柱	令和2年度	令和元年度	増△減
(1) つながりと協働を育むまち	33,203	32,462	741
(2) いきいきと健やかに暮らせるまち	17,323	17,868	△ 545
(3) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	16,429	18,798	△ 2,369
(4) 安全・安心なまち	24,725	23,579	1,146
(5) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	9,346	8,583	763
合 計	101,026	101,290	△ 264

2 (2) 統合事業費

区 分	令和2年度	令和元年度	増△減
広報よこはま発行业	10,240	9,718	522
市民相談事業	1,451	1,540	△ 89
クリーンタウン横浜事業	1,552	1,442	110
消費生活推進員活動事業	448	448	0
緊急時情報システム運用事業	440	442	△ 2
スポーツ推進委員支援費	1,309	1,798	△ 489
青少年指導員事業	1,880	1,397	483
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520	1,520	0
合 計	18,840	18,305	535

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	令和2年度	令和元年度	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	231,178	230,466	712
区版市民活動支援センター	931	931	0
土木事務所管理費（光熱水費含む）	5,920	5,509	411
地区センター等管理費	147,563	146,106	1,457
ログハウス管理費	7,833	7,762	71
公会堂管理費（光熱水費含む）	33,820	33,413	407
老人福祉センター等管理費	106,044	105,103	941
コミュニティハウス管理費	51,692	50,768	924
区スポーツセンター管理費	39,549	38,901	648
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	7,022	6,894	128
その他（広場・遊び場）	482	475	7
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500	7,500	0
合 計	639,534	633,828	5,706

令和2年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要

都筑区では、「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまちの実現を目指し、5つの柱に基づき自主企画事業費予算を編成しました。

区民の皆様が「ずっと住み続けたい」と愛着を持てるよう、地域・団体・企業の皆様と共に、ふるさとづくりに取り組んでまいります。

施策1 つながりと協働を育むまち

予算額 33,203 千円(対前年度比 +741 千円)

人と人とのつながりが実感でき、互いに支え合える地域づくりを多様な主体と協働して進めていくため、団体間の連携促進、人材の確保など、地域支援の取組の充実を図ります。

その中で、令和2年度は第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を策定します。

あわせて、共感と信頼の区役所づくりを進め、つながりづくりを支えます。



都筑区民文化センター（仮称）

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

予算額 17,323 千円(対前年度比 △545 千円)

都筑区は年少人口の割合が18区で最も高く、平均年齢が最も若いまちです。子育て世帯に選ばれるまちとして、更なる子ども・子育てへの支援を図ります。

また、今後早いスピードで進む高齢化を見据え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、「都筑区健康アクション！」に基づき、各世代に応じた健康づくりを進めます。

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

予算額 16,429 千円(対前年度比 △2,369 千円)

都筑区には、魅力的な地域資源が数多くあります。都筑区ならではの都筑野菜、優れた技術を持つ中小製造業、文化、スポーツや商業団体などの地域資源を積極的に活用した取組を進めます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、更なるにぎわいづくりに取り組みます。



横浜国際プール
(英国水泳代表チームプレ事前キャンプ)

施策4 安全・安心なまち

予算額 24,725 千円(対前年度比 +1,146 千円)

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、自助・共助による防災の取組や地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを行います。

また、地震や豪雨による被害で区民の防災・減災への関心が高まっていることを受け、地域や関係機関・団体と連携して震災や風水害に対する更なる取組を進めます。

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

予算額 9,346 千円(対前年度比 +763 千円)

中期4か年計画で示されている「ガーデンシティ横浜」の推進を踏まえ、都筑区においても、花と緑にあふれるまちを目指し、施策を進めていきます。

都筑区の地域資源である公園や緑道などの安全対策に取り組むとともに、区内の魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。また、環境にやさしいまちを目指し、地球温暖化対策を進めます。



(単位：千円)

重点	No. 自主企画事業名	令和2年度	令和元年度	増△減
★	1 まちづくり総合調整事業	4,995	6,279	△ 1,284
★	2 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	5,842	3,380	2,462
★	3 【新規】地域支援の種(たね)事業	1,018	-	1,018
	4 区役所改善推進事業	11,683	13,690	△ 2,007
	5 自治会・町内会支援事業	4,016	3,429	587
	6 広報・広聴事業	1,955	1,910	45
	7 つづき”縁”ジン事業(市民活動・生涯学習支援事業)	2,844	2,732	112
	8 地域de育む青少年事業(青少年健全育成事業)	850	1,042	△ 192

★	9 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	9,229	9,193	36
★	10 つづき健康づくりサポート事業(都筑区健康アクション!)	2,679	2,630	49
	11 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	3,435	3,333	102
	12 地域で支える高齢者支援事業	828	1,242	△ 414
	13 障害者交流啓発事業	1,152	1,470	△ 318

★	14 メイドインつづき推進事業	5,970	4,369	1,601
★	15 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業	910	905	5
	16 文化活動支援・スポーツ振興事業	2,069	1,969	100
	17 街のにぎわいづくり事業	5,480	6,205	△ 725
	18 都筑 国際交流プログラム	1,400	1,550	△ 150
	19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	600	600	0
	終了「図説 都筑の歴史」編さん事業	0	3,200	△ 3,200

★	20 災害にそなえる自助・共助の推進事業	4,623	3,288	1,335
	21 安全・安心なまちづくり事業	9,782	9,728	54
	22 危機管理対策推進事業	9,410	9,732	△ 322
	23 食と暮らしの安全推進事業	910	831	79

★	24 ハマロード・サポーター、公園・緑道愛護会等活動推進事業	4,659	4,230	429
	25 環境にやさしいまち推進事業	2,122	1,714	408
	26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	2,565	2,639	△ 74

合計		101,026	101,290	△ 264
----	--	---------	---------	-------

※ 2年度に新たに実施する項目については下線が引いてあります。

施策1 つながりと協働を育むまち

1 まちづくり総合調整事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		499万5千円	627万9千円

まちづくりに関する区民の声を聴き、地域の課題解決等を図るための検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。また、地域の实情に応じたきめ細やかなまちづくりの普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを支援します。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会）、横浜キャンパスの学生を対象とした都筑区インターンシップ等を行います。

また、留学生が地域に入るきっかけづくりとして、出身国・出身地域の暮らしや環境を紹介する「都市大留学生カフェ」を開催します。

(2) その他企業との連携

企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行います。

2 まちの課題解決

横浜市生活交通バス路線の周知用ポスターをバス車内や自治会町内会の掲示板に掲示するなど、利用促進PRの取組を進めます。

3 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成事業【新規】

令和5年度に予定されている、都筑区民文化センター（仮称）の開館に向けた機運を高めるため、施設等の利用に関連したアイデアミーティング、整備事業者と連携したイベントを実施します。

4 地域まちづくり推進

(1) 地域主体のまちづくりの推進

地域の实情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行います。

(2) 都筑区民文化センター（仮称）整備に関連したまちづくりに関する取組

都筑区民文化センター（仮称）整備予定地周辺の交通量に関する調査を実施します。

2 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		584 万 2 千円	338 万円

福祉保健の取組への住民参加を促進し、地域活動団体や社会福祉施設等と行政が協働して、地域づくり、支えあいの仕組みづくりを進めます。

1 第4期計画策定【新規】

人のつながりを実感し安心して暮らせる地域づくりを目指し、区民、事業者、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支えあいの仕組みづくりを進めることを目的として、第4期都筑区地域福祉保健計画（計画期間令和3～7年度）を策定します。

2 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第3期計画の推進や第4期計画策定に向けた、学識経験者や区民による意見交換の場とします。

また、併せて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年分野、高齢者分野、障害者分野及び健康づくり分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援します。

3 地域懇談会の開催

第3期計画推進や第4期計画策定に向けて地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

各地域の支えあい連絡会を活用し、「必要な人に支援が届く仕組みづくり」について検討を進めます。また、(仮称)都田地域ケアプラザの整備に向けて、庁内連携を進め、取り組みます。

5 地域福祉保健活動補助金

地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行います。

6 地域福祉保健計画推進体制強化事業

第4期計画策定に向けて、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施します。

7 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の一助とします。

8 発表会の開催

計画推進のための各地区の活動や取組を共有する場として、「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。

- ・つづき あいフォーラム：令和3年2月20日（土）都筑公会堂
- ・パネル展：令和3年2月18日（木）～24日（水） 区民ホール

3 地域支援の種（たね）事業 重点 新規	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	101万8千円	0円	101万8千円

都筑区内の地域社会は自治会町内会を中心に、地区社会福祉協議会や学校、各種の委嘱委員など、多種多様な関係者によってその運営が担われており、都筑区役所も平成23年度から開始した地区担当制を通じ、地域との顔の見える関係を築いてきました。

第4期都筑区地域福祉保健計画の策定も視野に、地域課題の解決を支援するため、未来にむけた地域支援の種（たね）を蒔くことで、地域運営の持続可能性を高めます。

1 地区カレンダーの発行

区内15地区それぞれの動向を通年で整理した「地区カレンダー」を編集・発行し、地域活動の担い手を支援します。

2 グループウェアの導入支援

地区連合自治会が利用できるグループウェアの導入をモデル的に支援し、地域活動の活性化や会議の円滑化、自治会町内会役員の負担軽減を図ります。

3 地域の諸課題に応じた支援

災害時の避難体制や区内在住の外国人支援など、個別の地域課題の解決につながるような支援を柔軟に展開し、地域支援の強化につなげます。

- ・ドイツ語表記のイベントカレンダーの発行 など

4 区役所改善推進事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		1,168万3千円	1,369万円

区民満足度の向上のため、来庁者の方が利用しやすい窓口サービスを提供する等、様々な取組を推進します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 窓口サービス等の改善を、改革推進委員会等で検討のうえ、実施します。(6月～3月)
- (2) 人権意識の向上を目的として、人権啓発講演会を実施します。(12月)
- (3) 来庁者の方が利用しやすい窓口サービスの実現のため、音声翻訳機及び会話の内容が第三者に漏れることを防ぐ音響発生装置を試行的に導入します。

2 区庁舎等環境改善

区民ニーズに対応した区庁舎等の環境改善を行います。
また、庁舎2階の待合スペースの環境整備を引き続き行います。

3 税理士等派遣事業

確定申告の時期(2月16日～3月15日)に、専門知識のある税理士等の協力を得て、確定申告(医療費控除の還付申告)に係る作成支援と受付を区民に身近な区役所で行えるようにします。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。(配置時間：8時45分～17時)

また、区役所を利用するお子さま連れのお客様が安心して相談できる環境づくりを進めるため、一時託児を実施します。(実施時間：9時30分～15時30分)

5 自治会・町内会支援事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		401 万 6 千円	342 万 9 千円

既存自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。あわせて、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表します。

2 自治会町内会への情報提供

区連会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送します。

3 自治会町内会加入促進

地域活動を促すため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行います。

- ・転入手続時の加入促進リーフレットの配布
- ・区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布
- ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ
- ・自治会町内会会長の人となりや活動の様子を紹介する冊子を配布
- ・自治会未加入者を対象とした自治会の概要をまとめたリーフレットを作成

6 広報・広聴事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		195万5千円	191万円

区民に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また、広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

1 ガイドブック発行事業

転入者向けに隔年で発行し配布していた「Garden×都筑区役所」の内容及び配布対象を見直し、新たに区民向けのガイドブックを発行します。

2 PRボックスの活用

毎月1日に全駅のPRボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月10日には広報印刷物の補充等を行い、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

3 インターネット広報

区ホームページにおけるオープンデータの提供や若年層に向けたツイッター等での情報発信を行います。

4 広報研修の実施

効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の理解を深めるため、主に広報区版に携わる職員を対象とした広報研修を開催します。

5 主要事業説明等周知、地域における意見交換会

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区行政に反映させます。

(1) 主要事業説明等周知

「主要事業説明」を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、区内主要事業の広報区版への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行います。

(2) 地域における意見交換会

地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行います。

- ・地域のつどい：住民相互の話し合いや行政との意見交換会
- ・区長の気軽にトーク：地域で活動している団体と区長との意見交換会

7 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業)	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	284万4千円	273万2千円	11万2千円

市民活動・生涯学習支援として、活動のきっかけづくり、活動の支援、市民団体の育成を図ります。また、市民活動の担い手や施設における連携・交流が更に進むように取り組みます。

1 はじめる（個人支援）

(1) 大人の学級

個人の学びを地域活動へ繋げることを目的とした講座を開催します。

(2) ボランティアベース都筑

ボランティア活動の促進をテーマにサロンを開催します。

(3) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」を目的に、女性たちによるネットワークづくりの講座やイベントを開催します。

(4) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習の普及を目的として広報紙を発行します。

(5) つながりカフェ

個人が市民活動を始めるためのきっかけづくりや市民団体間の交流を目的として、市民活動に関する交流会を開催します。

2 ささえる（活動支援）

(1) 区民活動補助金

公益性が高く地域課題の解決に繋がる市民団体の事業に補助金を交付します。

(2) 縁ジンミーティング

市民団体のスキルアップを図る講座や登録団体の交流会を開催します。

(3) 区民活動センター利用促進事業

センターの利便性向上を図り新規利用者を獲得するための事業を実施します。

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等の成果発表会を開催し、団体間の交流を図ります。

3 つながる（連携、交流）

(1) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設のネットワーク強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めます。

(2) つづき人^{びと}交流フェスタ

区内の市民活動団体等による活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施します。

8 地域 de 育む青少年事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	85 万円	104 万 2 千円	△19 万 2 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催します。

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施します。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを目指します。

(2) はあと de ボランティア プレコース (小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施します。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供します。

(1) (2) 共通の今後の予定

- ・オリエンテーション：全3回、都筑区役所6階大会議室
- ・ボランティア体験：区内各所（区内町内会、ボランティア団体、区民利用施設 等）
- ・振り返り・修了証授与：都筑区役所6階大会議室

3 つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年の文化活動の発表の場の提供、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みます。(11月23日)

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

9 妊娠期から学齢期までの 切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		922 万 9 千円	919 万 3 千円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や夫（パートナー）が参加しやすいように、土曜日半日コースの両親教室を、区役所会場（4回）と地域子育て支援拠点 Popola（以下ポポラ）（4回）で実施します。

- ・区役所会場：7月11日、9月26日、11月28日、2月27日
- ・ポポラ会場：6月27日、7月4日、10月24日、1月23日

また、「マタニティさんの赤ちゃんとの生活プチ体験」をポポラに委託し実施します。

都筑区の先輩ママから「妊娠中のママへの応援メッセージ」を集め、母子手帳交付時に配布している「妊娠マイカレンダー」に印刷し、全妊婦に配布します。

2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室を区内14会場で開催し、仲間づくりや育児相談をします。参加対象を第2子以降の0歳児にも広げます。

3 外遊び広め隊事業

地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域で外遊びを実施している団体等を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施します。また、乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える「外遊び体験会」を区内の公園で開催します（講師を派遣して3回予定）。

4 子育てネットワーク事業

ポポラや区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換・研修（子育てネットワーク会議）及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施し、区内で活動している子育て支援関係者・関係団体の関係づくり、知識技術の向上、課題共有や解決を図ります。

- ・子育てネットワーク会議：（第1回）6月以降に延期（第2回）2月末
- ・子育てネットワーク交流会：12月7日

5 育児不安を抱える養育者への支援

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、心理士が相談を行います。また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を開催します。

- ・2歳児講座実施予定日：7月20日

6 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行います。

7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。

- (毎週火曜日(第5火曜日は除く))

8 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演会や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

- ・小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～(9月)

9 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にする気持ちを育むため、学校や保護者等と協力して命の授業を区内の全市立小学校(22校)で実施します。(6月～3月)

10 赤ちゃんふれあい体験事業

乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の全市立中学校(8校)の生徒を対象に実施します。(7月～8月)

11 区民による子育てマップの作成(つづきチルコロMAP)

子育て中の区民がもつ外遊びや公園等の情報を掲載した子育てマップ(つづきチルコロMAP)をポポラと協働して更新し、発行します。(3月、12,000部)

10 つづき健康づくりサポート事業 (都筑区健康アクション!) 重点 拡充	R2 予算額	R 元予算額	増△減
		267 万 9 千円	263 万円

様々な年代の区民に対し、健康づくりの一環である運動習慣の定着を図るため、新たに運動に関する講座及びイベントを実施します。また、引き続き区内連携を進めるとともに、関係団体や企業と協働し、生活習慣病及びがんの予防、食育の推進など総合的に啓発活動を行います。

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨します。

また、区民の運動習慣の定着を図るため、地域で健康づくりに携わる方を対象とした講座を開催します。

- ・生活習慣病予防、運動啓発パネル展：10月1日～10月15日、区民ホール
- ・大腸がんトイレットペーパーを活用したがん啓発：月2回、区役所内トイレ
- ・3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発：月2回
- ・がん検診啓発巡回パネル展：9月～10月 地域ケアプラザ5か所
- ・つづけるウォーキング講座：10月

保健活動推進員・食生活等改善推進員等の地域で健康づくりに携わる方を対象

2 食育推進事業

食育は生涯にわたるすべての世代に応じた中断のない大切なものです。特に、都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになることを目指します。

- ・子育て支援事業会場における乳幼児向けの食事相談：区内11か所、延べ22回
- ・食育情報交換会：年2回（7月、12月）
- ・ホームページを活用した食育、健康に関する啓発

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や合同の研修会を行うことにより、各推進員の地域の健康づくり活動への意欲向上を図るとともに、区民の健康づくりに取り組む意識をより一層醸成します。

4 都筑区健康アクション事業【新規】

区民を対象とした健康体操イベントを実施し、日頃、運動習慣が無い方でも気軽に実践できる内容で、健康へ関心を持ってもらうきっかけを作ります。

また、引き続き「つづき つづける 健康づくり」のスローガンを広く伝えることで、健康アクションとして区役所が一丸となって取り組んでいることを区民に周知します。

- ・健康体操イベント：年2回

5 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、平成 29 年度から庁内において取り組んでいるストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等を引き続き実施していきます。

11 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	343 万 5 千円	333 万 3 千円	10 万 2 千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら、育児相談などができるようにします。

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力者の見守りにより、毎月第3日曜日に園庭を開放します。

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が、食事のとらせ方や作り方について保護者へ助言します。

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいよう、地域ごとに実施します。

- ・ Aエリア（東山田周辺）：9月4日（金） 東山田地域ケアプラザ
（仲町台周辺）：9月10日（木） 仲町台地区センター
- ・ Bエリア（中川・北山田周辺）：11月10日（火） 北山田地区センター
- ・ Cエリア（茅ヶ崎周辺）：秋の実施を検討中
- ・ Dエリア（池辺町、川和町周辺）10月12日（月）都田小学校コミュニティハウス
10月14日（水）葛が谷ケアプラザ

5 積木交流

市立保育所にある合計2万個の積木を使い、地域の親子が参加できる育児講座を開催し、「積木の都筑」を広めていきます。

10月15日（木） 区民ホール

12 地域で支える高齢者支援事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	82万8千円	124万2千円	△41万4千円

高齢者が住み慣れた地域で、その心身の状態に応じて自立意欲を保ち、互いに支え合い、安心して暮らし続けることができるまち“都筑”の実現を目指します。そのために認知症に対する正しい理解や介護予防の普及啓発を促進するとともに、地域で主体的に取り組む支援者を育成します。

1 認知症普及啓発事業

(1) 認知症フォーラム

都筑区内の方へ認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供をし、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催します。また、区民ホールにて、認知症パネル展を開催します。

(2) サポート連絡会

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行います。

2 認知症人材育成事業

認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成するための講座を実施します。

3 福祉保健情報提供事業

(1) 福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営

チラシ、パンフレットの配布や閲覧資料の紹介、介護施設サービス等の情報提供、申請書類の記載支援、来庁者の案内誘導等を行います。

(2) 高齢者向け情報提供資料の作成・発行

高齢者等からニーズが高い介護予防や認知症、介護保険制度等に関する情報をまとめた情報提供用資料を作成し、窓口等で配布します。

13 障害者交流啓発事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	115万2千円	147万円	△31万8千円

障害者と地域住民との共生社会を目指し、障害者と地域住民との交流や障害者の社会参加を支援する福祉農園事業、障害者地域啓発事業、障害者施設支援事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行います。

2 障害者地域啓発事業

(1) 区民まつり福祉バザー

地域住民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会とします。

(2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援

障害のある方が、地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会とします。

3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内、商業施設等において障害施設が自主製品の販売活動を実施しています。この活動について、区民への周知を支援します。

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

14 メイドインつづき推進事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		597 万円	436 万 9 千円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 展示会出展等支援

神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進します。

2 地産地消の推進

区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜朝市の定期開催（概ね月2回）やイベント開催、都筑野菜マルシェセット（のぼり旗、エプロン、簡易テント、テーブル、野菜結束テープ）の貸し出し、リーフレットやステッカーなどのPRツールを活用した都筑野菜のPRなど、地産地消の取組を支援します。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行うとともに、都筑野菜を楽しむための料理教室を開催します。

3 メイドインつづき推進事業PRの実施

区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、PR動画等の広報媒体を活用し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力の発信を行います。

15 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業	重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		91 万円	90 万 5 千円	5 千円
<p>東京 2020 オリンピック・パラリンピックの次年度開催に向けて、引き続き機運醸成を図ります。また、横浜市が都筑区とつながりの深いボツワナ共和国のホストタウンであるため、「ホストタウン」としての取組を通じて、区民の関心向上を図ります。</p> <p>1 区民利用施設等と連携した巡回パネル展の開催 東京 2020 大会の機運醸成を図るため、<u>ボツワナ共和国の理解の促進や応援する内容を含むオリンピック・パラリンピックに関するパネル展を、区民利用施設等を巡回して実施します。(7 月以降)</u></p> <p>2 区内商店街等と連携した東京 2020 大会関連装飾の実施 <u>のぼり旗や懸垂幕等の装飾を作成し、区内商店街や区民利用施設等と連携して、東京 2020 大会関連装飾を区内で展開します。(7 月以降)</u></p> <p>3 パラスポーツ関連イベントの開催 東京 2020 大会の機運醸成やパラスポーツ普及のため、<u>パラスポーツに関する講演会や体験イベントを開催します。(12 月)</u></p>				

16 文化活動支援・スポーツ振興事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	206 万 9 千円	196 万 9 千円	10 万円

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

- ・ボランティアスタッフ、キャッチフレーズ募集：4月
- ・ポスターデザイン画募集：7月～9月上旬
- ・参加者募集：9月～10月下旬
- ・第25回都筑区民文化祭：1月23日～2月7日

2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助を行うとともに、各種目別の区民大会の開催支援を行います。

3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催を支援することで、スポーツ振興と健康増進、異世代交流を図ります。(3月)

4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。

5 地域の読書活動推進事業

第2期「都筑区読書活動推進目標」(令和元年度改定)に基づき読書活動を推進します。

17 街のにぎわいづくり事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	548 万円	620 万 5 千円	△72 万 5 千円

区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。

また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。

1 都筑区民まつり

区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第 26 回都筑区民まつり」を実施します。(11 月 3 日)

2 商店街魅力発信事業

都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様に伝える取組を行います。

また、プロスポーツチーム等、都筑区の魅力的な資源と連携することで、効果的に区民の皆様と区内商店街とのつながりの創出を図ります。

3 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の広場を会場に、ドイツの冬の風物詩であるクリスマスマーケットを都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催します。(12 月)

18 都筑 国際交流プログラム	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	140 万円	155 万円	△15 万円

区内在住の外国人の皆様が安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。
また、ボツワナ共和国などアフリカとの交流を発展的に継続していきます。

都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ(つづきMYプラザ)」に以下の事業の運営を委託します。

1 国際交流・外国人支援事業(国際理解教室、第7回都筑・ボツワナ交流児童画展など)

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成を行います。

また、国際理解の促進のためのイベントや、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施します。

2 市民活動支援

日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供します。

19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	60 万円	60 万円	0 万円

平成29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、都筑区の三者で「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しました。この協定に基づき、横浜ビー・コルセアーズのPR活動や地域に根差したチーム作りの支援を行うとともに、地域が一体となってチームを育てる体制づくりに取り組むことで、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元応援イベントの実施

地域の皆様と連携し、横浜ビー・コルセアーズを応援する企画を実施するとともに、横浜ビー・コルセアーズの選手を交えたバスケットボール教室などを通じて、地元ファン層の拡大を図ります。

- ・開幕カウントダウンボード：8月～9月、区民ホール
- ・パネル展示：9月、区民ホール
- ・広報よこはま都筑区版での紹介：12月

2 都筑区応援dayの実施

横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、地域の皆様に試合観戦を呼びかける都筑区応援dayを実施します。

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地元プロスポーツに関わる人々の増加を図ります。

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		462万3千円	328万8千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

- ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月29日書面開催
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会：第1回 6月28日 第2回 7月 第3回 1月

2 地域防災拠点の通信機器等の整備【新規】

災害発生時における情報通信基盤として、区本部と各地域防災拠点との通信を確保するため、各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器等について、総務省の無線設備規則の改正に対応するため、更新が必要な27台のうち、令和2年度は9台の更新を進めます。

3 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。

4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行われるよう、また、地域での要援護者支援活動がより多くの対象者に行き届くよう、希望する地域に対して災害時要援護者名簿の提供を行うほか、連合自治会町内会に対し、補助金の交付を行うなど、地域の実情に合った支援を行います。

5 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から作成した災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を活用し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発します。また、感染症予防啓発のため作成した、ペットボトルを利用した適正な濃度の消毒液の作り方シールを保育施設や高齢者施設等に配布し、感染症防止を図ります。

- ・災害時にも役立つ冊子：班回覧、防災救急フェア（9月）、区民まつり（11月）で配布
- ・消毒液の作り方シール：感染症対応指導者研修（高齢者施設及び保育施設職員対象）
感染症パネル展で配布

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行います。

また、災害時に想定される動物救援病院の活動に備え、獣医師会加盟病院へ、活動を広報するのぼり旗を配付します。

21 安全・安心なまちづくり事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	978万2千円	972万8千円	5万4千円

交通安全啓発・スクールゾーン協議会支援等交通安全運動、及び放置自転車対策事業を実施し、区民の皆様の安全を守ります。さらに、犯罪を未然に防ぎ、区民の安全で安心なくらしを実現するため、防犯活動を支援します。

1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察、土木事務所と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

22 危機管理対策推進事業	R 2 予算額	R 1 予算額	増△減
	941 万円	973 万 2 千円	△32 万 2 千円

大雨や台風による河川の氾濫を想定した水防訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。これに加えて、区災害対策本部運営訓練を実施し、区本部体制の強化を図ります。

また、災害時に迅速かつ的確な情報発信・収集をするため、緊急時情報伝達システムの運用を進めます。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。

- ・災害対策連絡協議会（書面開催）

(2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。

- ・鶴見川水防訓練：6月27日、佐江戸町内会エリア

参加者：都筑消防団、都筑消防署、都筑警察署、都筑区役所

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図ります。

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップやハザードマップを増刷の上区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図ります。

- ・防災・生活マップ：13,000部増刷予定
- ・洪水ハザードマップ：2,000部（局より配布予定）

3 区本部体制の維持・管理

(1) 区本部運営に必要となる備蓄品や資機材等の維持管理、整備を行います。

(2) 防災用スピーカーを、鶴見川沿いに1基増設します。

- ・防災用スピーカー1基増設（横浜市交通局川和車両基地）：6月11日運用開始

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

- ・受伝達訓練：6月5日

23 食と暮らしの安全推進事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		91 万円	83 万 1 千円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施します。特に、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などを対象に食事を提供する社会福祉関連給食施設については、検査キットを用いて衛生指導を行います。

- ・拭取り検査を併用した衛生指導：

9月～3月、小学校・社会福祉関連給食施設 70 か所

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信します。イベントや講座では、簡易機器を用いた手洗いの効果測定や手洗い方法を示したクリアフォルダの配布により正しい手の洗い方を周知します。

また、消毒液の適切な使用方法をプリントしたステッカーの配布により、ノロウイルス食中毒予防についても周知します。

- ・食中毒予防パネル展：8月～12月、5回

2 暮らしの衛生確保事業

(1) 動物、昆虫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ネズミ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

(2) 区民が利用する施設の衛生確保の推進

理美容所で使用する器具等について、検査キットを用いて衛生指導を行います。

- ・拭取り検査を併用した衛生指導：1月～3月、20施設

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰を実施するとともに、区民まつり等において、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施します。

- ・動物愛護週間イベント：9月17日～9月24日、区民ホール

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 ハマロード・サポーター、 公園・緑道愛護会等活動推進事業	重点	拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
				465 万 9 千円	423 万円

身近な道路や公園を清掃、維持管理するボランティア団体や個人に都筑区の実情に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

各団体（43 団体）が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供します。

また、8月の「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、交流会を開催します。

- ・道路ふれあい月間での活動PR：道の日イベント（8月30日）
- ・都筑区交流会：12月

2 公園・緑道愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会（152 団体）及び水辺愛護会（3 団体）の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、PR活動を実施します。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えるほか、東方公園ほ場で愛護会向けの花苗を生産・配布するための消耗品等を提供します。

3 活動ステップアップ相談事業【新規】

専門的な支援を求める団体からのニーズに応えるため、外部アドバイザーによるサポートを行います。

また、支援ニーズに応えたり、担い手を増やすための効果的な施策を実現したりするにあたっての助言を外部から得ます。

4 都筑^{りよくか}緑花塾事業

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催します。

あわせて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法をまとめ、普及を支援します。

- ・ナチュラルガーデン講座：6月30日ほか計5回、東方公園ほか

5 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくにあたり、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードを配布します。また、活動に必要な道具や清掃用品を提供します。

案内カードの内容は、土木事務所のホームページにも掲載します。



活発な愛護会活動により花の名所として
親しまれている江川せせらぎ緑道

25 環境にやさしいまち推進事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		212 万 2 千円	171 万 4 千円

「SDG sにつながる取組」、「温暖化対策」及び「3 R夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 SDG s 啓発【新規】

(1) 親子向け環境アドベンチャー

子供向けにSDG sの観点から環境問題を身近に考えてもらうきっかけづくりとなるイベントを開催します。

(2) SDG s 環境フェア

SDG sの様々なゴールにつながっているプラスチック問題の解決に向けたきっかけづくりや、家庭で取り組む3 R行動を紹介するイベントを開催します。

- ・つづき3 R夢週間パネル展（第2回）：10月22日～27日
- ・東京農工大学 高田教授による講演会：10月24日

2 温暖化対策推進事業

(1) 緑のカーテン事業

区庁舎に設置されている緑のカーテンを維持管理し、区内小中学校（10校）、及び区内公共施設（地域ケアプラザ及びコミュニティハウス）への緑のカーテン設置を支援します。

(2) つづきエコ活啓発事業

区民の皆様へ、身近な温暖化対策の取組をPRし、普及啓発に取り組みます。

3 クリーン・ヨコハマ3 R夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援を行います。

- ・清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：2団体
- ・ポイ捨て防止啓発：8月、区庁舎周辺

(2) ヨコハマ3 R夢推進事業

3 R行動推進のため、つづき3 R夢週間を始めとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した市民等への啓発、「つづきっこ読書応援団」との協働によるリユース図書の募集・配付などを行います。

- ・つづき3 R夢週間パネル展等：7月23日～28日（第1回）
10月22日～27日（第2回）
- ・赤ちゃん会での3 R夢啓発：9月～3月、14会場
- ・リユース図書の配付：11月、区内小学校

4 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

街の美化や3R夢行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰します。また、温暖化対策・3R夢に関する情報を共有する会議を行います。

- ・表彰：6月頃に延期予定（4団体、8個人）

26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	256万5千円	263万9千円	△7万4千円

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。

さらに、引き続き都筑区花いっぱい運動に取り組むことで、花や緑を大切にすることを醸成します。

また、「都筑区水と緑の散策マップ」を用いて、都筑区の環境資源の魅力を発信します。

1 みどリアップ推進

(1) みどリアップ計画および市民の森PR事業

区の魅力資源の一つである市民の森（池辺・川和）のPRに取り組みます。

(2) 都筑区花いっぱい運動の推進

ア 花と緑の親しみづくりイベントの開催

区制25周年を契機に選定した「つづき みどりと花の名所25選」の一部を巡るウォーキングイベントを開催することで、花や緑を大切にすることを醸成するとともに、区内の貴重な環境資源の魅力を発見する機会とします。

イ 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みます。

2 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」については地図情報等の更新（令和元年度に実施）したものを増刷し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信します。また、マップの次回の更新に向けた情報収集を行います。



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第4期都筑区地域福祉保健計画推進・啓発バージョン